

「疑問に思う男女差別について」

高田中学校 二年 神田 大誠

男女平等とは、性別による差別を受けないことをいうそうです。普段の生活でこれはどうなんだろうと感じた事をまとめてみることにしました。

まずは、学校生活です。体育のプールの時の着替えは、女子は更衣室などのところで着替えています。一方男子はプールサイドで着替えています。今まで、これが普通だと思って生活していたので疑問に感じることはありませんでした。しかし、男子が更衣室で着替えていないことは差別ではないかと感じました。

僕は小学一年生から中学二年まで担任の先生はほとんど女の先生で、男の先生が担任になったのは一度だけでした。校長先生や教頭先生は男の先生ばかりで、女の校長先生や教頭先生は今までいませんでした。なぜ女の校長先生や教頭先生がいないのだろうと疑問に感じました。

次は家庭内での生活です。家庭内の生活では、僕の両親は共働きです。お母さんの帰りが遅い時は、お父さんがご飯の準備や米とぎ洗い物などをやっています。帰ってきたお母さんは助かると言っています。おじいちゃんは、米とぎなどをやった事がないと言っていました。昔は女の人が家事をするという考えが強かったかもしれませんが、今はどっちがやってもいいと思います。

僕は、男だから仕事をする、女だから家事をするという考えはなく、やれる方がやればいいと思います。家族が協力し合い、生活していくことが大切であると思います。

僕も男だから、女だからと今まで無意識に言葉にしたり行動したりしていたのかもしれませんが、僕が将来、大人になったときには、男だから、女だからといった考えはなくなりその人がその人らしく生活できる社会になって、少しずつ男女の差別がなくなっていけばいいと思います。